

安曇野市区長会だより

～地域づくりはみんなが主役～



安曇野市区長会

第2号 H30.12 発行



○平成30年度安曇野市区長会

安曇野市区長会長あいさつ

市民の皆様には、日頃、自治会活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、安曇野市内83区の区長（三郷地域・堀金地域においては代表区長）により構成された「安曇野市区長会」は、各区が抱えている様々な地域課題の解決及び市民の皆様の地域活動への参画を得て、地域力の向上を目指すとともに、安曇野市の発展を図ることを目的としております。

特に、地域課題は83区の区長が共有化し、行政とも連携し安心して生活ができるまちづくりに少しでもお役にたてる区長会にしたいと活動しております。



会長 重野 義博

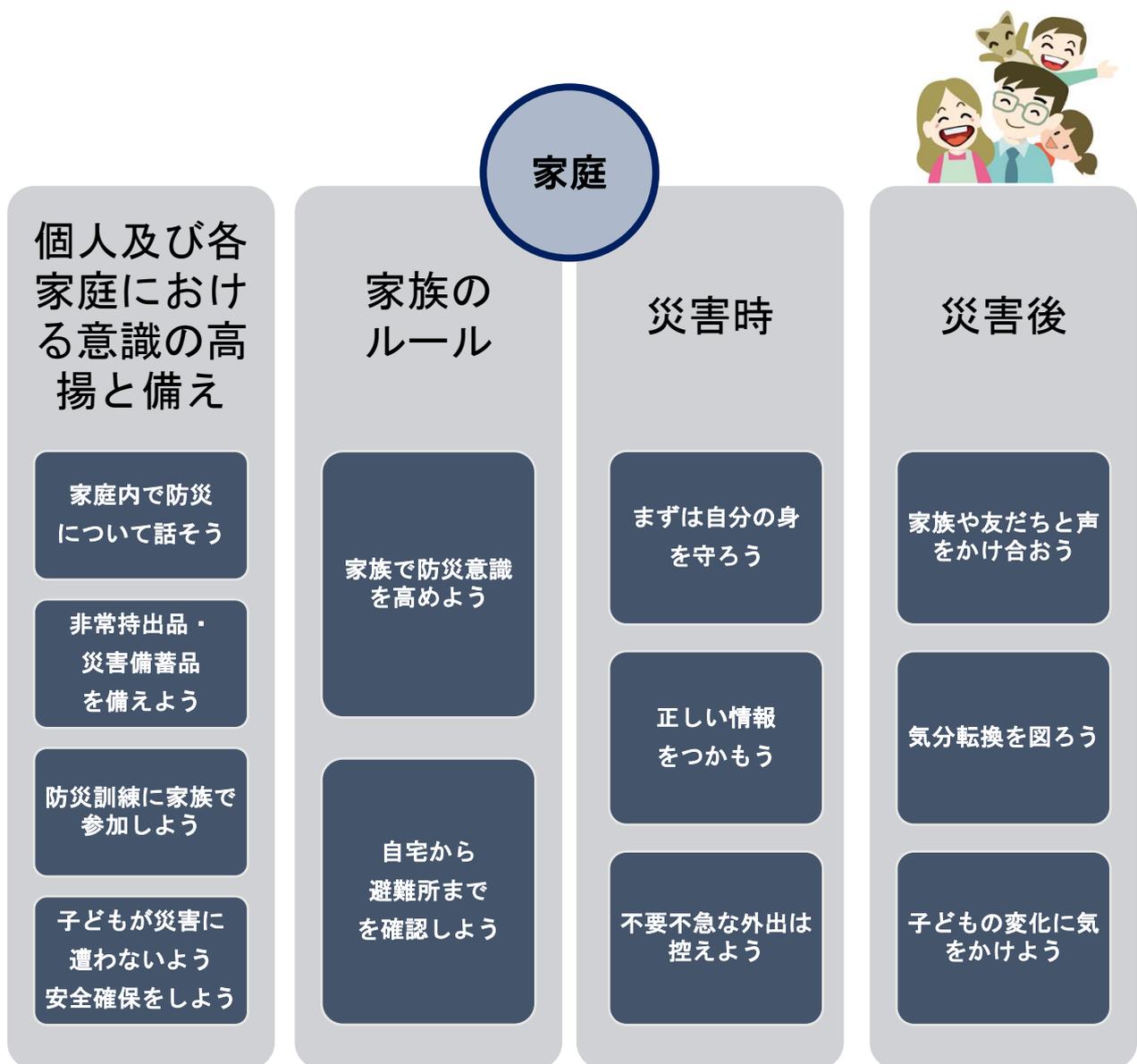
市区長会では、専門部会を設置し、地域における課題について検討する場を設けています。本年度は「区の会計のあり方について」、「区の意義・重要性について」、「地域福祉の向上について」の3つのテーマで研究・検討をしています。安心して生活できるまちづくりに向けて専門部会をはじめ、地域課題解決のための活動に区長一丸となって取り組んでいますので、皆様にもご理解・ご協力をいただきたく、お願い申し上げます。



○防災の基本は、「自助」、「近助」、「共助」

今年は大規模災害が多い一年でした。大阪府北部地震、北海道胆振東部地震や台風など日本各地で大きな被害がありました。被災された皆様にはお見舞い申し上げます。

安曇野市においても、いつ災害が起きてもおかしくない状況です。平成28年度に安曇野市区長会が作成した「コミュニティ・マニュアル」では、一人ひとりが防災・減災の意識を高めるとともに、家庭内で、隣近所で、隣組単位で、常会・町内会で、そして区としての防災に対する意識を高め、災害へどのように備えるかをまとめました。今回はその中からいくつかご紹介いたします。災害時の一助となれば幸いです。



少子高齢、人口減少など社会情勢が大きく変化することから、各区における課題も多様化、複雑化してきており、一層支え合い、助け合い、見守り合う社会が必要となってきました。

災害時だけではなく、日頃からの支え合い、助け合い、見守りが大切です。「何をすればいいの。」と、考えてしまいがちですが、基本はあいさつです。

あいさつができる関係になったら、日常会話を加えてみましょう。「おはようございます。今日は天気がいいですね。」と。こういった簡単なことから、顔の見える関係を広めていき、緩やかな支え合い、助け合い、見守りにつなげていきましょう。



日常の地域 コミュニティ

いざという時のため、
一人ひとりが何をすべきか
知っておこう

高齢者、独り住まいなど
プライバシーに配慮しながら、
いざという時の人間関係を構築しよう

地域で想定される
災害に対する
防災訓練を行おう

定期的な区内の安全
パトロールをしよう

地域

災害時の隣近所の 支え合い

正しい情報を
共有しよう

災害時、隣近所で声が
け、安否確認をしよう

けが人など隣近所で協力
して応急処置をしよう

災害時の 避難・収容

隣近所で声がけをし、
避難しよう

避難所の開設・運営は
お互いに役割分担をしよう

高齢者、障がい者へ配慮
子どもとその家族へ配慮
女性へ配慮



○安曇野市区長会事務局に地域おこし協力隊が着任しました！

6月に着任し、区に関わる活動で活躍中の地域おこし協力隊を紹介します。



つちや ようこ
土屋 陽子

辰野町出身
東京都から転入

○好きなこと

和太鼓（ちょっと前に声をかけていただき、始めました！）

○安曇野の好きなところ

五感で四季を感じることができること！（おいしい食材、夕焼け、朝霧など）

○こんな活動をしています

- ・安曇野市へ移住される方へ区加入に関する案内
- ・区の円滑な事業推進のための相談
- ・地域力向上のための安曇野市区長会事業の企画及び事業サポート など

地域おこし協力隊が見て感じた安曇野

上伊那郡辰野町出身の信州っ子です。大学進学を機に上京後、ウン十年間（？）の東京生活を経て、長野県が恋しくなり、「どうせ長野県に戻るなら、憧れの安曇野に住もう！」と思い立ち、都会育ちの夫を連れて、ふたりで安曇野にやって参りました。これから皆さんに様々ご指導をいただきながら、大好きな安曇野のために活動して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

北アルプスに抱かれた緑豊かな観光都市、幼い頃からの憧れの地・安曇野。ここに移住して来られた喜びを胸に、さっそく市内の健康づくりサークルの仲間に加えていただき、休日にまち歩きに出かけました。歩きながら、行く先々で、歩道のアスファルトの割れ目から雑草がきれいに抜き取られているのに気付きました。不思議に思ってサークルの中心者の方に訪ねてみると、「今朝、4時半から起きて、草取りをしておいたんだよ。農家の人が多いから、みんな草取りは慣れてるよ」さらに、別の方は、歩きながら、道端に生えた背の高い黄色い花を見つけては、根っこから抜き取っていました。「この花はね、オオキンケイギクという特定外来種なんだよ。一見かわいらしいけど、他の植物を駆逐して生態系を壊すから、抜いておかないと」

誰に言われた訳でもなく、また、見返りを求める訳でもなく、自主的に自然や美観を守る活動をしている。しかも、それを何か特別なイベントとしてではなく、日常生活の中で当たり前のこととして。このような方々がいるから、安曇野の美しさが保たれているんだな……。私は、新鮮な驚きとともに、尊敬の念を深く感じました。

やっぱり安曇野に来て、よかった！私も安曇野市民の一人として、皆さんと一緒にあって、この豊かな自然を守っていきたいと思います。

※地域おこし協力隊

地方自治体が都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、地域協力活動に従事してもらいながら、その地域への移住・定住を図る取り組みについて、国として支援する制度。

発行：安曇野市区長会
事務局：市民生活部地域づくり課
電話：71-2494（直通）